

国民健康づくり対策(健康日本21)と函館市健康増進計画(健康はこだて21)の比較

	「健康日本21」		「健康日本21」(第2次)
期 間	平成13年度～平成24年度	期 間	平成25年度～平成34年度
目 的	21世紀の我が国を、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするため、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸及び生活の質の向上を実現する。	目 的	(10年後に目指す姿) 全ての国民が共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・一次予防の重視 ・健康づくり支援のための環境整備 ・目標設定と評価 ・多様な実施主体による連携のとれた効果的な運動の推進 	基本方針	(基本的な方向) ①健康寿命の延伸と健康格差の縮小 ②生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 ③社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上 ④健康を支え、守るための社会環境の整備 ⑤栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善
目標値について	①栄養・食生活 ②身体活動・運動 ③休養・心の健康づくり ④たばこ ⑤アルコール ⑥歯の健康 ⑦糖尿病 ⑧循環器病 ⑨がん の9分野についての目標指標を設定	目標値について	上記の基本的な方向①～⑤について53項目の目標指標を設定
健康指標の達成状況※ (再掲除く59項目)	A 目標値に達した : 10項目(16.9%)	方針検討の視点※	①日本の特徴を踏まえ10年後を見据えた計画の策定
	B 目標値に至っていないが改善 : 25項目(42.4%)		②目指す姿の明確化と目標達成へのインセンティブを与える仕組みづくり
	C 変わらない : 14項目(23.7%)		③自治体等関係機関が自ら進行管理できる目標の設定
	D 悪化している : 9項目(15.3%)		④国民運動に値する広報戦略の強化
	E 評価困難 : 1項目(1.7%)		⑤新たな理念と発想の転換
		方向性※	①社会経済の変化への対応 ②科学技術の進歩を踏まえた効果的なアプローチ ③今後の新たな課題

※健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料P12～P15より

	「健康はこだて21」		「健康はこだて21」次期計画
期 間	平成14年度～平成24年度	期 間	平成25年度～平成34年度
目 的	市民一人一人が心身共に健やかに生活できるようにするため、生活習慣病による死亡の減少、健康寿命の延伸を図る。	目的(案)	市民一人一人が心身共に健やかに生活できるようにするため、生活習慣病による死亡の減少、健康寿命の延伸を図る。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・一次予防の重視 ・個人の健康づくりを支援するための環境の整備 ・目標の設定と評価 ・多様な実施主体による連携のとれた効果的な計画の推進 ・年代別の健康づくり(各年代ごとの目標指標) 	基本方針(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 ・個人の健康づくりを支援するための環境の整備 ・目標の設定と評価 ・多様な実施主体による連携のとれた効果的な計画の推進 ・年代別の健康づくり(各年代ごとの目標指標)
重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起き朝ごはんの推進 ・運動の推進 ・禁煙の推進 	重点取組	
健康指標の達成状況 (再掲除く54項目)	A 目標値を概ね達成 : 20項目(37.0%)	健康指標	
	B 目標値に至っていないが改善 : 6項目(11.1%)		
	C 改善なし、目標策定時より悪化 : 23項目(42.6%)		
	D 評価困難 : 5項目(9.3%)		